

市議会だより Vol.10

岡山市議会議員 高橋 雄大

(発行元：岡山市議会おかやま創政会)



ごあいさつ

岡山市議会議員の高橋雄大です。平素より私の議会活動にご理解をいただきまして、誠にありがとうございます。

「平成30年7月豪雨」は平成の最後の夏にして最悪の水害となり、私たちの岡山市においても各地で河川の決壊、越水による甚大な家屋浸水被害、土砂崩れなどが発生しました。危機管理の見直し、被災された皆様へ寄り添う行政としてのあり方、今後の復興への取り組み、そして将来起こりうる自然災害への徹底した備えなど、あらゆる角度からの議論、具体的な対策が急務です。

また、政令市である岡山市においてもオリンピック・パラリンピックが開催される2020年を境に人口減少期に突入します。年少人口、生産年齢人口は毎年減少幅を広げながら減り続けることが想定されており、年金、医療、介護など社会保障に与える影響が大きくなっています。岡山市の総合計画策定にあたっての出発点ともなっているのは「少子高齢・人口減少」という現実を受けての持続可能な都市づくりであり、今後取り組む様々な政策、施策、事業における理念の柱として行政全体で共有を図っていく必要があるということは言うまでもありません。待機児童解消を含めた子育て環境の充実、そして生涯現役

時代にふさわしい雇用制度の構築とあわせて、シニア世代が健康で元気に活動できる環境をつくり、医療費などの財政負担の削減につながるための予防、健康へのインセンティブ措置の強化など働き方改革と社会保障制度改革を同時に行っていくこと、さらにはこれまでのような行政だけによる取り組みだけではなく、そこに企業や民間の視点や活力を取り込み、予算の効率的な利用を図る視点も重要になってきます。人口減少や人口構造、環境や条件が大きく変化する中で、未来に責任をもつ責任世代の一人として、しっかり議会でも地域で汗を流し、声を発し、目に見える具体的な仕事をしていきたいと思っています。

今年度も各定例議会や常任委員会の中で様々な提案や質問に立ち、9月定例議会は初当選から連続通算30回目の登壇ともなったところです。

この度の市議会だよりでは平成30年2月から9月までの定例議会における議論を中心に伝えさせていただきます。お目通しただければ幸いです。



高橋雄大(おかやま創政会) 代表質問項目 (平成30年2月～平成30年9月まで)

平成30年2月定例岡山市議会

1. 安心・充実の子育て・教育環境について
2. 生涯にわたる健康づくりの推進とエイジレスに働ける岡山市の実現について
3. 消費者教育の推進とサービス産業での悪質クレーム対策について
4. うらじゃへの取り組みについて

平成30年6月定例岡山市議会

1. 特別な事情による予防接種の再接種について
2. 子どもの貧困対策について
3. 地域共生社会の実現にむけて
4. SIB(ソーシャル・インパクト・ボンド)について

平成30年9月定例岡山市議会

1. SIBを活用した健康ポイント事業と生涯活躍就労支援事業について
2. 子どもを虐待から守る取組みについて
3. 消費者教育の推進とサービス産業での悪質クレーム対策について
4. 平成30年7月豪雨災害を受けて

以下、議会質問から一部抜粋

健康へのインセンティブを高める。

シニア世代の皆さんと市内企業の雇用のマッチングを図り、健康で元気な生活環境となるよう応援する！
民間の知恵や活力も借りながら、生涯現役社会を創ろう！

Q SIB——ソーシャル・インパクト・ボンドという新たな仕組みが注目されています。これは、投資家や銀行から集めた資金を活用し、民間事業者が行政の事業を行い、行政は成果に応じた支払いを行うという仕組みです。行政は成果に応じた支払いを行うということにより効果の高い事業執行ができ、市民の税金をより有効に活用することができます。



このような中、本市においても今後、SIBを活用した新たな健康ポイント事業、就労支援事業を行うこととしています。岡山市の取り組みが全国の先進モデルになることを期待しているところです。まず、健康ポイント事業についてはどういった分野の企業でどの程度の規模の事業を想定し、いつから開始されますか。また、成果指標としては現時点でどのようなものを想定されますか。そして、就労支援事業における対象者にはどのような方々を想定されていますか。またどのような企業や団体がコンソーシアムを構成し、いつから開始されますか。あわせて、成果指標としては現時点でどのようなものを想定されますか。

※SIBとは、SIB(Social Impact Bond ソーシャル・インパクト・ボンド)とは民間事業者が出資、融資等の民間資金調達により、事業を実施し、あらかじめ定められた成果指標の達成状況に応じて、市が事業費を支出するもの。

H30. 6. 23(土)山陽

民間資金で健康事業

ポイント付与と想定

市議会市長方針

健康ポイント事業とは、民間事業者が行政の事業を行い、行政は成果に応じた支払いを行うという仕組みです。行政は成果に応じた支払いを行うということにより効果の高い事業執行ができ、市民の税金をより有効に活用することができます。

健康ポイント事業の概要

健康ポイント事業のメリット

健康ポイント事業のデメリット

健康ポイント事業の今後の展開

Q 災害の被害を抑えるために、防災公園の存在が重要になります。地域の公園にも防災トイレや太陽光発電などを活用した照明施設、かまどベンチ、防火水槽など、防災整備の充実が必須ではありませんか。

A 本市では250カ所の公園を避難地候補場所としています。避難地は住民が緊急かつ一時的に避難し、避難所へ移動する際の集合場所に位置づけられており、他都市では、水や食料の配給場所や炊き出しの場、地域情報提供の場などに活用している例があります。公園が避難地として指定された場合には、地域の意見、公園の特性を踏まえ、防災設備の設置を検討してまいります。

Q 今年の猛暑は災害といえるレベルとなりました。エアコンの設置ですが、まず中学校の普通教室というのを早目に達成していきたい。その次は小学校の普通教室と、ここまで議論が進んでいます。そしてご存じのように小さな子どもほど熱中症のリスクは高くなります。幼稚園など就学前施設へのエアコン設置についても早急を実現すべきではありませんか。

A 平成30年の猛暑は、子どもの健康、安全管理への影響が懸念されるものでした。子どもの健康、安全を第一に考えていく必要があり、31年(2019年)の夏に間に合うよう、早ければ次の議会までにどのような対応ができるか検討したいと思います。

各小学校区などで座談会を開催しています！

生活圏となる中学校区や小学校区ごとに、それぞれ地域の声を伺う、生活の中での切実な声を伺う座談会を開催しています。ここで頂く質問やご意見が、次の議会での貴重な情報源、活動の源になります。身近な市政について、暮らしについて、未来のために今できる選択と一緒に考えていきたいと思います。



平成30年7月豪雨災害発災後、各地で活動



災害発生後、とにかく現場の状況を把握したい、そして被災された方やボランティアセンターの方々、ボランティアに来られた方々のお話を聴きたい、そして議会での発信、行政との連携を通じて現場で起きている課題を解決したいという思いから、様々な現場を飛び回りました。改めて被害にあわれた方々に心よりお見舞いを申し上げますと共に1日も早くも通りの暮らしを取り戻せますことをお祈りし、あわせてそのためのあらゆることに汗をかいていくことも同時にお願い申し上げます。



この度の災害では、岡山市でおよそ7,700世帯の住宅への浸水被害などはもとより、市内の経済面、観光面にも影を落としています。市内外からの多くのボランティアの方々のおかげも、初期の対応から、生活再建支援、この度の教訓を活かした今後起こりうる大規模災害に対する備え等により取り組んでいくというフェーズに移行しつつある中で、直近の議会でも様々な視点から質問や意見があったところです。

高橋雄大 人への投資を通じて 真に強い岡山市を創造する

高橋雄大 人への投資

検索

日々の議会活動の事など情報発信しています。是非ご覧ください。



高橋 雄大

公式フェイスブックページ



高橋雄大プロフィール

現在37歳。法政大学法学部卒業
家族妻、長男(5歳)、次男(1歳)
岡山市議会議員(2期)
会派 おかやま創政会 幹事長

総務委員会 副委員長
活力と魅力あふれる区づくり調査特別委員会 委員長
ファジアーノ岡山を応援する岡山市議会の会 幹事
岡山シーガルズを応援する岡山市議会の会 会員

歳出の主なもの		歳出高
被災者の生活再建支援	38億5,411万円	10.7%
災害見舞金	74,225千円	0.2%
災害復旧費	248,290千円	0.7%
被災者生活再建支援法	2,824千円	0.01%
被災者生活再建支援法	11,766千円	0.03%

歳出の主なもの		歳出高
被災者の生活再建支援	38億5,411万円	10.7%
災害見舞金	74,225千円	0.2%
災害復旧費	248,290千円	0.7%
被災者生活再建支援法	2,824千円	0.01%
被災者生活再建支援法	11,766千円	0.03%

歳出の主なもの		歳出高
公共施設等の復旧	52億6,377万円	15.1%
土木施設の災害復旧	1,779,420千円	0.5%
土木施設の災害復旧	2,801,263千円	0.8%
土木施設の災害復旧	2,801,263千円	0.8%
土木施設の災害復旧	2,801,263千円	0.8%

歳出の主なもの		歳出高
市内企業研修場整備補助	30,260千円	0.09%
市内企業研修場整備補助	30,260千円	0.09%
市内企業研修場整備補助	30,260千円	0.09%
市内企業研修場整備補助	30,260千円	0.09%
市内企業研修場整備補助	30,260千円	0.09%

おかやまマラソン2018を完走しました!!

2018おかやまマラソンでは平成30年7月豪雨災害の復興支援に取り組みました。「がんばろう!岡山」のチャリティーゼッケンが販売され、そこにランナーがそれぞれの想いを込めたメッセージを書き込みました。チャリティーゼッケンの販売代金は、EXPO会場での募金と合わせ、日本赤十字社岡山県支部を通じて平成30年7月豪雨災害の義援金として全額寄付されます。



今年も母と親子でフルマラソンを完走することができました。おかやまマラソン2018はおよそ16,000人の岡山市内から集まったランナーが参加し、またおよそ16万人の方々の沿道での暖かい声援や約5,400人のボランティアの皆さんに支えられ、大きな盛り上がりの中で素晴らしい大会として無事に終わることができました。

※高橋雄大の議会質問の詳細については、岡山市議会HPでは是非ご覧ください。
URL:<http://www.city.okayama.jp/gikai/>



高橋 雄大

人への投資を通じて 真に強い岡山市を創造する

公式フェイスブックページ

フェイスブック

Twitter

公式ウェブサイト <http://www.yudai-takahashi.jp/>

高橋雄大事務所(連絡先)

〒703-8271 岡山市中区円山107
TEL:086-277-9900 FAX:050-3730-9606
E-mail:boasorte0411@gmail.com
自宅 〒703-8266 岡山市中区湊112-1D101



